

奄美群島の概要

1. 地理的・自然的特性

- ・奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島等有人8島
- ・鹿児島市の南西約370～560kmの範囲に位置、琉球弧の一部を構成
- ・総面積は1,231km²（奄美大島は712km²で沖縄本島、佐渡島に次ぐ面積）
- ・気候は亜熱帯性気候で、四季を通じて温暖、多雨
- ・台風の常襲地帯

2. 沿革

- ・西暦1460年頃 全島が琉球王朝の支配下に入る。
- ・西暦1609年 薩摩藩の征縄役の結果、奄美群島は琉球から分割されて薩摩藩に直属
- ・明治8年 鹿児島県大島大支庁が名瀬に置かれる。
- ・昭和21年 連合軍総司令部の覚書により日本本土から行政分離され、沖縄に本部を置く米国軍政下に統治される。
- ・昭和28年 日本に返還され、鹿児島県の行政管理下に編入される。
- ・昭和29年 奄美群島復興特別措置法制定（以後、約5年ごとに期限を延長）
- ・昭和39年 奄美群島復興特別措置法と改称
- ・昭和49年 奄美群島復興開発特別措置法と改称
- ・平成16年 奄美群島復興開発特別措置法の一部改正
- ・平成21年 奄美群島復興開発特別措置法の一部改正
（有効期限を平成25年度末まで5か年延長）
奄美群島復興開発基本方針を策定
奄美群島復興開発計画を策定（鹿児島県）

3. 概況

- ・人口 : 118,773人（平成22年国勢調査）
〔参考〕昭和30年国勢調査 205,363人
- ・行政組織 : 奄美市、大島郡11町村（鹿児島県大島支庁 所在地：奄美市）
- ・所得 : 1,970千円（平成21年度1人当たり所得）、対全国格差74.1%
- ・主な産業 : <農業> さとうきび（沖縄に次ぐ生産量）
花き（菊、ユリ、ソリダゴ、グラジオラス）
野菜（ばれいしょ、さといも）
肉用牛
果樹（タンカン、マンゴー、すもも）
<水産業>（クルマエビ、マグロ、カツオ、イカ）
<製造業> 大島紬、黒糖焼酎
<観光リゾート> 年間約67万人の観光客（入込み客数）

〔奄美群島の主要指標〕

項	目	年次	奄美	鹿児島県	沖縄県	全国
人口増減率(H22/S30)	(%)	H22	△ 42.2	△ 16.5	73.9	42.2
65歳以上人口構成比	(%)	H22	29.1	26.5	17.4	23.0
1人当たり所得	(千円)	H21	1,970	2,207	2,045	2,660
〃 対全国格差	(%)		74.1	83.0	76.9	100.0
生活保護率	(%)	H23	50.5	19.1	22.5	16.4
消費者物価地域差指数(総合)		H22	(H24.2) 102.6	(H24.2) 100.7	(H24.2) 99.5	(H24.2) 100.0
ガソリン価格		H23	(奄美市名瀬) 169	(鹿児島市) 153	(那覇市) —	150
市町村財政力指数		H22	0.16	0.28	0.34	0.53
合計特殊出生率		H21	2.13	1.56	1.79	1.37